

腎臓に感謝したくなる本を出版

この度、聖隷佐倉市民病院の柏原英彦名誉院長が長年取り組んできた腎臓移植に関する本を出版しました。
この本に対する思い「すたつと編集部が伺ってみました。」

1 出版の経緯について教えてください。

まずこの本の表題についてですが、私から3つの気持ちを込めて本の名前を付けました。

一つは、私達の体の中には腎臓が2つありますが、どのような働きをしているのか気が付かないまま普段の生活を送っています。しかし、もしこの腎臓がなかったら命も奪われてしまうほどの重要な臓器であることの認識を持つて頂き、正常に働いていることに感謝することです。

二つ目は、いろいろな種類の腎臓病がありますけれども、その腎臓病の末期になると人工腎臓あるいは腹膜透析というものを施さないとおよそ2週間ほどの生命となってしまう。そのような腎不全にならないように、日ごとのように気を付けたりよいかをお伝えして、腎臓病の知識をもってもらいたい...という願いです。

三つ目は、不幸にして腎臓がダメにならなってしまう、透析に入った場合に腎臓移植という治療法がありますけれども、腎臓移植を待っている人が非常に多く、そのような方々に腎臓の提供があれば、透析の時に味わった苦しみからも開放され、社会復帰ができます。腎臓に対して三つの気持ちを含めて、この「腎臓に感謝したくなる本」を今回まとめてみました。

2 腎臓は、どんな役割を持つのでしょうか？

腎臓は、ちょうど肋骨(あばらほね)の後ろ側に2つあります。握り拳大で、ソラ豆のような格好で背骨の前にあります。

一番大きな役割は、水分を出すということです。私達は毎日尿を約1000mlほど出しています。水分を出すと同時にその中に体の中でできた老廃物を排泄して入ります。また体の中を微妙に調節する機構を有していて例えば、食塩を大量に摂取した場合でも、きちんとナトリウムを体の中に一定に保つなど、体の中の環境を常に一定に保つてくれます。水分をたくさん摂っても体重増加はなく、体内をアルカリ性に保ってくれます。

また、赤血球を作るホルモン、あるいは血圧を調節するホルモン、さらには骨を丈夫にするカルシウムの代謝に関係します。その他にもたくさんホルモンの作用を持っている非常に重要な臓器なんです。これが

腎臓の役割と言えるでしょう。

3 読者の方にお伝えしたいこと

残念ながら日本では世界の透析患者さんの5分の1、27万人が治療を受け、その中で移植を待っている方が1万4000人もいます。私達はいつかは死に直面する時が来ます。交通事故、あるいは脳の血管病など不慮の事故が病気にいつ遭うか分からないということ。もしそのようなことになった時に腎臓の提供を申し出が出来るよう、今回は「臓器提供意思表示カード」というドナーカードを本の中に付けさせて頂きました。

また、多くの方々に腎臓病について理解を深くしてもらうため、患者さんの手記も織り込んでいます。

是非この本を読んで頂き、ご賛同頂いた方はドナーカードにサインをしてお財布の中に入れておいて頂ければ幸いです。



柏原英彦 (かしわばら・ひでひこ)
医学博士・聖隷佐倉市民病院名誉院長
1940年生まれ。1966年千葉大学医学部卒業。同大学第二外科で移植の先駆者である岩崎洋氏のもと「臓器保存法」を研究。

腎臓移植のための医療情報ガイド
腎臓に感謝したくなる本
柏原英彦 著
NPO 日本腎臓移植協会

日本の腎臓移植パイオニアがおくる
移植治療の展望

○書籍情報/三五館
定価1,365円(税込)

● **読者プレゼント**

今回、出版された「腎臓に感謝したくなる本」を3名様にプレゼントします！

応募方法は、官製はがきにて、①お名前 ②住所・電話番号 ③年齢 ④の記事の感想を記入の上、〒285-0002 佐倉市田町74-1 (株)高千穂ネットワーク内、すたつと編集部 まで応募下さい。

聖隷佐倉市民病院 健診センター

人間ドック・各種オプション検査・健康診断をご受診いただけます。
【お問い合わせ】 TEL.043-486-0006 FAX.043-486-1687
mail: sk-dock@sis.seirei.or.jp
住所: 〒285-8765 千葉県佐倉市江原台 2丁目36番2

聖隷佐倉市民病院

〒285-8765 千葉県佐倉市江原台 2丁目36番2
TEL.043-486-1151
FAX.043-486-8696
URL: http://www.seirei.or.jp/sakura/

↑QRコードから聖隷佐倉市民病院の情報をチェック